

■横浜市と昭和村の友好・交流協定(平成25年10月6日締結)

<協定の内容>

- 1 両市村は、市民と村民が相互に活発な交流を進め、持続的な友好交流が行われるよう努める。
- 2 両市村は、環境・経済・農業・観光・文化・スポーツその他様々な分野において相互協力をを行い、地域の活性化に努める。
- 3 両市村は、相互の理解により、お互いの繁栄と幸福がもたらされるよう努める。

■昭和村と横浜市の友好交流のあゆみ

昭和47(1972)年	旧「横浜市赤城山市民野外活動センター」を昭和村に開設
昭和48(1973)年	昭和村児童の横浜招待旅行を開始
昭和54(1979)年	「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」に宿泊棟「山の家」を開設
昭和62(1987)年	「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」に宿泊棟「鳥の家」を増築
昭和63(1988)年	「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」に雨天集会場「森の家」を増築
平成元(1989)年	横浜市制100周年・横浜開港130周年記念の「横浜博覧会」に昭和村民が八木節踊り、太々神楽等で参加
平成10(1998)年	第1回「昭和の秋まつり」開催(横浜中華街が出展開始)
平成16(2004)年	新潟県中越地震の際に「赤城林間学園」に新潟県小千谷市の被災者を受け入れ
平成17(2005)年	「災害時における相互応援に関する協定」を締結
平成20(2008)年	昭和村が「第77回開港記念バザー」に出展開始
平成21(2009)年	職員の人事交流(横浜市(経済観光局)⇒昭和村(企画課)、昭和村(総務課)⇒横浜市(行政運営調整局)) 昭和村が「新横浜パフォーマンス」に出展開始
平成22(2010)年	「第1回やさい王国昭和村フォトコンテスト」を横浜市教育委員会が後援、教育委員会賞を授与開始 「第13回昭和の秋まつり」を横浜市教育委員会が後援開始 職員の人事交流(横浜市(総務局)⇒昭和村(企画課)、昭和村(税務課)⇒横浜市(戸塚区))
平成24(2012)年	「第3回やさい王国昭和村フォトコンテスト」を横浜市が後援、横浜市長賞・横浜市会議長賞を授与 昭和村が横浜市「戸塚ふれあい区民まつり」に出展開始
平成25(2013)年	「横浜市と昭和村の友好・交流に関する協定」を締結 「第16回昭和の秋まつり」を横浜市が後援、出展開始 「やさい王国昭和村フォトコンテスト」入賞作品の横浜市内での巡回展示開始
平成26(2014)年	昭和村の雪害被害に対し、横浜市職員ボランティアによる支援 職員の人事交流(横浜市(こども青少年局)⇒昭和村(企画課)、昭和村(建設課)⇒横浜市(政策局)) 昭和村との友好交流事業補助金制度の開始、昭和村サポーター事業の開始 昭和村産こんにゃく芋の横浜公園への植付・収穫、こんにゃく作り体験教室の開始 昭和村が横浜市「子どもアドベンチャー」に参加開始
平成27(2015)年	横浜市ホームページに「こんにゃく芋成長日記」の掲載開始
平成28(2016)年	昭和村が横浜市「栄区民まつり」に出展
平成29(2017)年	昭和村内施設の「横浜市民向け優待サービス」を開始 職員の人事交流(横浜市(環境創造局)⇒昭和村(企画課)、昭和村(建設課)⇒横浜市(政策局))
平成31(2019)年	昭和村が横浜市「里山ガーデンフェスタ」に出展
令和2(2020)年	職員の人事交流(横浜市(緑区)⇒昭和村(企画課)、昭和村(税務課)⇒横浜市(政策局))
令和3(2021)年	新しくなった市庁舎で横浜市友好交流自治体のPR物産展を初開催
令和4(2022)年	市庁舎プレゼンテーションスペースで横浜市友好交流自治体の写真展を初開催

「横浜市大都市制度推進本部室」のTwitter
やメンバーリスト(昭和村サポーター通信)
でも昭和村の情報を発信しています。

大都市
Twitterアカウント
ぜひご覧ください▶



昭和村サポーター
通信の登録は
こちらから▶



■昭和村と横浜市のアクセス

お車でのアクセス

- ◎昭和村から関越自動車道「昭和IC」→関越自動車道「練馬IC」→環状8号線・第三京浜道路
又は首都高速道路を経由して横浜(昭和村から約2時間30分から約3時間)
- ◎昭和村から関越自動車道「昭和IC」→関越自動車道、圏央道、東名高速道路「横浜町田IC」を
經由して横浜(昭和村から約2時間30分から約3時間)

電車でのアクセス

- ◎昭和村から車で上越新幹線「上毛高原駅」→「東京駅」から東海道線を經由して横浜
(昭和村から約2時間15分)
- ◎昭和村から車で高崎線「岩本駅」→上越新幹線「高崎駅」→「東京駅」から東海道線を經由して横浜
(昭和村から約2時間45分)

横浜市政策局広域行政課 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 令和4年4月1日発行
<電話>045-671-4082 <FAX>045-663-6561 <Eメール>ss-kouryu@city.yokohama.jp



群馬県昭和村と横浜市の 友好交流のあゆみ



堤盛吉昭和村長からのメッセージ



昭和47年から始まった横浜市と昭和村の交流は、令和4年に50年を迎えました。この間、様々な交流事業が展開され、今では幅広い世代の市民・村民の交流が行われています。また、平成25年には友好・交流協定を締結し、友好関係が今なお深まり続けています。

今後も様々な機会を通じ、市民の皆様へ親しみを感じていただけるよう取組みを進めて参ります。これまでの横浜市と昭和村の半世紀という歩みを礎に、未来に向け永く交流を続けていきたいと思います。

山中竹春横浜市長からのメッセージ



今から50年前、横浜市は、現在の「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」を昭和村に開設しました。以来、横浜市の多くの子どもたちが、修学旅行などで昭和村を訪れ、その美しく豊かな自然に触れてきました。昭和村のすべての小学6年生を横浜市に招待する「横浜招待旅行」も、約50年続いている取組です。昭和村と横浜市の温かな交流は、「昭和の秋まつり」や「開港記念バザー」といったイベントへの相互出展などを通じ、今やあらゆる世代・分野に広がっています。今後も、これまで培ってきた絆を深め、次世代に引き継いでいきたいと思います。



【市の概要】(令和4年1月1日現在)
・昭和33(1958)年 昭和村誕生
・人口:7,033人 ・世帯:2,718世帯



【市の概要】(令和4年1月1日現在)
・明治22(1889)年 市制施行
・昭和31(1956)年 政令指定都市となる
・人口:3,772,029人 ・世帯:1,766,617世帯

交流の様子

※昭和47年に横浜市の施設である旧「横浜市赤城山市民野外活動センター」(現「横浜市少年自然の家 赤城林間学園」)を開設して以来、昭和村と横浜市はいろいろな交流を行っています。

もっと昭和村を知りたい! ① 横浜市内で昭和村をPR

昭和村は、横浜市内でのいろいろなイベントに出展しています。

例年、開港記念日(6月2日)の前後に開催され、横浜の初夏の風物詩ともなっている「開港記念バザー」には、平成20年から継続して出展しており、毎年、心待ちにくださっている横浜市民の方も多くいらっしゃいます。

10月の「新横浜パフォーマンス」、11月の「戸塚ふれあい区民まつり」、「栄区民まつり」などにも出展しており、昭和村の新鮮でおいしい野菜や果物はもちろん、ジャムやリンゴジュース、味噌なども大好評です。

令和3年3月には、新しくなった横浜市庁舎で初めて開催した「横浜市友好交流自治体のPR物産展」にも出展し、大盛況で幕を閉じました。



開港記念バザーでの出展



横浜市友好交流自治体のPR物産展

コラム 子どもアドベンチャー ～横浜まるごと冒険隊!

いろいろなお仕事・人との出会い～にも出展!

横浜市と企業・公的機関などが連携し、例年8月に開催している「子どもアドベンチャー」にも出展しています。昭和村のクイズや紙芝居等のプログラムを通じて、参加した小学生だけではなく、同伴の保護者の方等にも昭和村について知っていただく機会となりました。



子どもアドベンチャーの様子

生産量日本一! 昭和村産こんにゃく芋のPR

昭和村といえば、生産量日本一の“こんにゃく芋”。このことを横浜市民の皆さんに知ってもらえるよう、平成26年度から横浜市では、昭和村、(公財)横浜市緑の協会とともに、多くの市民や観光客が訪れる横浜公園で昭和村産のこんにゃく芋を栽培しています。

例年6月に約300個を植え付け、11月に芋ほり、12月には親子でこんにゃく作り体験教室を行っています。出来立てのこんにゃくの美味しさに、参加された皆さんはびっくりです。

また、こんにゃく芋の不思議な特徴や成長記録を横浜市ホームページで「こんにゃく芋成長日記」として発信しています。

🔍 横浜こんにゃく芋成長日記 検索



村職員から植え付けの説明を受ける小学校児童



植え付けの様子



こんにゃく作り体験教室の様子

横浜市内の小学校でも、子どもたちが学習の一環で昭和村産のこんにゃく芋を栽培しています。

これまでにこんにゃく芋を植え付けた横浜市内の小学校

- | | | | |
|-------------|-------------|---------------|-------|
| 平安小学校(鶴見区) | 2015年 | 日枝小学校(南区) | 2016年 |
| 小机小学校(港北区) | 2017年 | さつきが丘小学校(青葉区) | 2018年 |
| 新鶴見小学校(鶴見区) | 2019年・2020年 | 勝田小学校(都筑区) | 2021年 |

横浜のことも知ってほしい! ① 昭和村児童の横浜招待旅行

横浜市が昭和村に旧「横浜市赤城山市民野外活動センター」を開設した翌年の昭和48年から、昭和村の小学6年生全員を横浜市に招待しています。令和3年度までに延べ4,811人の児童が参加しており、昭和村で育った60歳以下の住民の皆さんは、ほぼ全員、横浜を訪れていることとなります! 近年は、横浜のおすすめ体験スポットとして大人気の「カップヌードルミュージアム」でオリジナルカップラーメンを作ったり、横浜スタジアムで横浜DeNAベイスターズの試合を観戦したり、横浜港を船で遊覧したりして、昭和村の児童の皆さんに、横浜を思いっきり楽しんでいただいています。



昭和60年頃の横浜招待旅行 山下公園で記念撮影 横浜スタジアムで野球観戦

自然を満喫! 横浜市立学校の修学旅行&宿泊体験

横浜市立の小学校・中学校・高等学校では、修学旅行、宿泊体験学習や部活動の合宿などで「赤城林間学園」を訪れています。

子どもたちは、横浜ではなかなか体験することが少ない農作物の収穫やこんにゃく作り、キャンプファイヤーなどを通じて、豊かな心を育み、自然の大切さを学んでいます。



うどん作り



キャンプファイヤー



食事の様子

もっと昭和村を知りたい! ② 昭和村と横浜市の友好交流事業

昭和村と横浜市の住民の皆さんによる活発な交流を進め、相互協力を行い、両地域の活性化を図るため、平成26年に「昭和村との友好交流事業補助金制度」を創設しました。

この補助金を活用して令和3年度までに、横浜市の町内会や公園愛護会、青少年指導員協議会など、延べ20団体・662人の地域活動を行っている皆さんが昭和村を訪れ、村づくり協力委員や子ども会育成会連合会などの皆さんと交流・研修を行っています。



平安町町会(鶴見区)の訪問(稲刈り)の様子

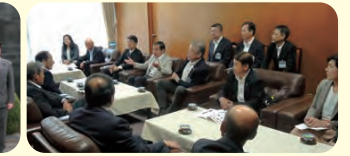


泉区青少年指導員協議会と村青少年育成推進員との意見交換

昭和村議会と横浜市の交流も行っています。



横浜市の昭和村視察



昭和村議会と横浜市の皆さんの交流(横浜市にて)

横浜のことも知ってほしい! ② 昭和の秋まつりでの出展

昭和村の皆さんに横浜のことをもっと知っていただくため、第16回昭和の秋まつり(平成25年)から横浜市や(公財)横浜市緑の協会(よこはま動物園などを管理)などが出展しています。

緑の協会は、動物の骨や毛皮などの派生物展示やワークショップなどを通じて、昭和村の皆さんに、楽しみながら動物への理解を深めていただいています。

また、横浜中華街は、第1回(平成10年)から出展しており、昭和村の皆さんに、本場の中華の味を楽しんでいただいています。



派生物展示の様子



本場の味 横浜中華街のブース

より活発な交流に向けて 昭和村と横浜市 還暦野球交流試合

昭和村と横浜市による還暦野球交流試合が、平成30年度から開催されています。昭和還暦野球クラブと横浜還暦古希軟式野球協会チームが、試合で共に汗を流しながら、お互いの絆をさらに深めています。



横浜スタジアムでの還暦野球交流試合の様子



昭和村と横浜市

職員の人事交流

平成21年度から昭和村と横浜市の人事交流を行っています。これまでに各5人の職員が派遣され、村や市の振興、お互いのより活発な交流に向けて、様々な取組を行っています。

※令和2年度、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、一部実施できていない事業があります。